

週間市場レポート (2021年7月26日~7月30日)

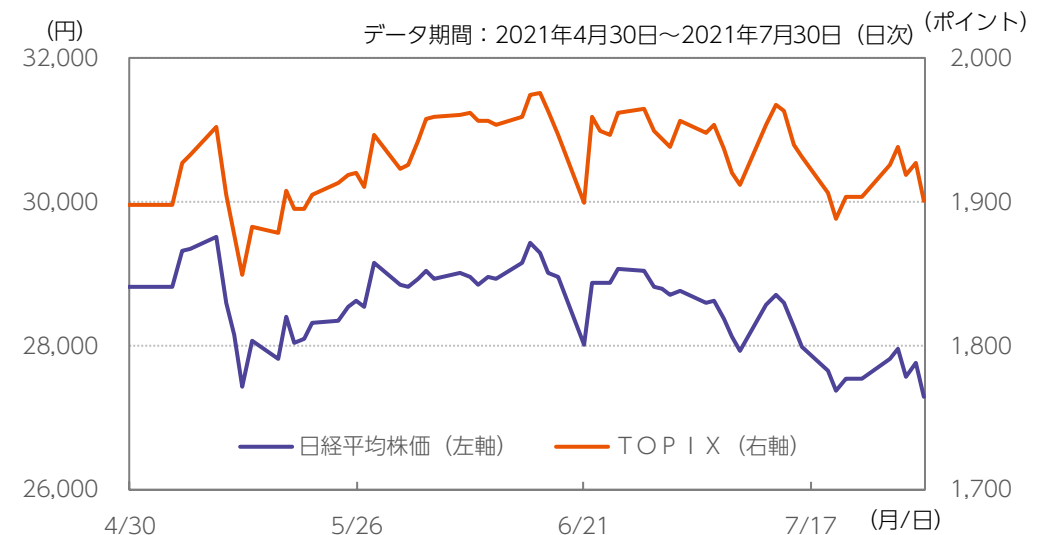
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/7/23	先週末 2021/7/30	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		27,548.00	27,283.59	▲ 0.96 ↓
TOPIX (東証株価指数)		1,904.41	1,901.08	▲ 0.17 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)		35,061.55	34,935.47	▲ 0.36 ↓
S & P500種指数		4,411.79	4,395.26	▲ 0.37 ↓
ナスダック総合指数		14,836.99	14,672.68	▲ 1.11 ↓
ユーロ・ストックス50指数		4,109.10	4,089.30	▲ 0.48 ↓
S & P/ASX300指数		7,386.37	7,386.45	0.00 ↑
上海総合指数		3,550.40	3,397.36	▲ 4.31 ↓
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,034.55	999.79	▲ 3.36 ↓
東証REIT指数		2,145.08	2,160.33	0.71 ↑
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		888.92	889.99	0.12 ↑
ASX300 REIT 指数		1,554.30	1,560.80	0.42 ↑
グローバルREIT (除く日本)*		209.11	209.74	0.30 ↑
日本10年国債 (%)		0.018	0.022	0.004 ↑
米国10年国債 (%)		1.276	1.222	▲ 0.054 ↓
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.420	▲ 0.461	▲ 0.041 ↓
英国10年国債 (%)		0.584	0.565	▲ 0.019 ↓
ドル/円		110.55	109.72	▲ 0.75 ↓
ユーロ/円		130.11	130.23	0.09 ↑
英ポンド/円		151.96	152.59	0.41 ↑
豪ドル/円		81.44	80.56	▲ 1.08 ↓
フィラデルフィア半導体指数		3,280.06	3,356.53	2.33 ↑
WTI原油先物 (ドル)		72.07	73.95	2.61 ↑
CRB指数		216.60	218.08	0.68 ↑

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に下落となりました。米主力ハイテク企業への業績期待から、米国株式市場が連日で史上最高値を更新した流れを受け、国内株式市場でも景気敏感株を中心に幅広い銘柄が買われました。その後も、好決算を発表した銘柄を中心に買われたものの、中国当局によるIT（情報技術）企業への統制強化を受け、中国市場が大幅下落したことや、緊急事態宣言の対象地域を拡大するとの見通しとなり、経済活動が停滞するとの懸念などから週末は大幅に下落し、週間では小幅な下落となりました。

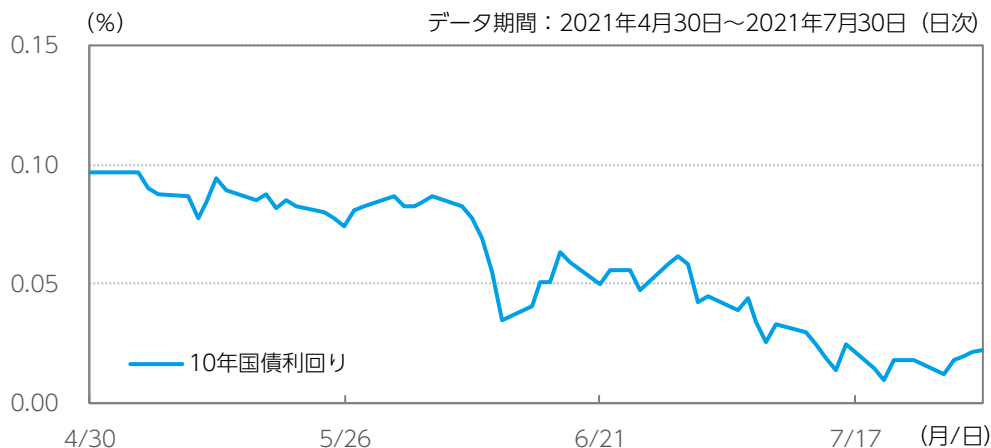


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース *1 ▲はマイナスを表します。 *2 7月23日の日本市場は休場のため、7月21日の終値を掲載しています。

≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。
日米株式市場の上昇を受け、相対的に安全資産とされる債券は売りが優勢となったものの（利回りは上昇）、新型コロナウイルスの感染再拡大による世界景気の減速懸念は根強く、投資家のリスク回避姿勢の強まりから、週末にかけては、国内債券は買いが優勢となりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

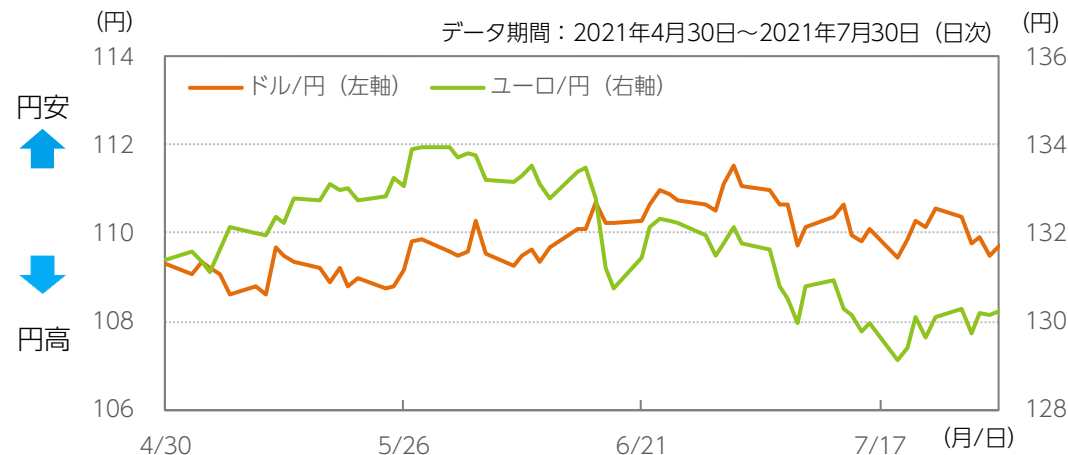
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。
米国でデルタ型による感染が拡大していることや、中国当局のIT企業への規制強化による中国市場の大幅下落を受け下落しました。米連邦公開市場委員会（FOMC）を受け、早期利上げ観測が後退すると、ハイテク株を中心に買われたものの、前週半ばから週初までNYダウが連日で史上最高値を更新していたことから、利益確定売りも出やすく上値は限られました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。
アジアを中心にデルタ型による新型コロナウイルスの感染が拡大しており、相対的に低リスク通貨とされる円は買いが優勢となりました。FOMCを受け、米国の金融緩和が長期化するとの見方が広がったことも、円買い米ドル売り要因となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、中国当局のIT企業等への規制強化による中国市場の大幅下落や新型コロナウイルスの感染拡大により、日米両市場ともに下落となりました。

都市部を中心に国内で新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。感染者が急増している埼玉、千葉、神奈川の首都圏3県と大阪府に対し、再び緊急事態宣言が発令されることとなりました。米国でも経済規模が大きいとされるフロリダ州やテキサス州などで再び感染者数が増加しており、経済活動の停滞懸念と先行き不透明感が強まっています。

27～28日に開催されたFOMCを無難に通過したことから、今週の株式市場は、日米の企業決算を見極めながら、好決算銘柄を物色する流れが強まりそうです。一方、足元のデルタ型による新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、投資家は積極的にリスクを取りにくく、上値は重くなるものと思われる。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>